



## 平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月6日

上場会社名 株式会社 スクウェア・エニックス・ホールディングス  
コード番号 9684 URL <http://www.square-enix.com/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松田 洋祐

問合せ先責任者 (役職名) 最高財務責任者 (氏名) 渡邊 一治

TEL 03-5292-8000

四半期報告書提出予定日 平成26年11月13日 配当支払開始予定日

平成26年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	73,130	18.6	8,507	81.9	8,997	58.7	5,702	118.8
26年3月期第2四半期	61,664	1.0	4,675	—	5,669	—	2,606	—

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 7,423百万円 (78.4%) 26年3月期第2四半期 4,161百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	49.47	49.39
26年3月期第2四半期	22.64	22.60

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第2四半期	218,174	134,150	61.0	1,154.09
26年3月期	216,617	127,676	58.3	1,095.78

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 133,048百万円 26年3月期 126,309百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	10.00	—	20.00	30.00
27年3月期	—	10.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	20.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	150,000 ～160,000	△3.2 ～3.2	11,000 ～16,000	4.3 ～51.8	11,000 ～16,000	△12.2 ～27.6	7,000 ～10,500	6.1 ～59.1	60.73 ～91.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

平成27年3月期の連結業績予想については、レンジ形式により開示しております。詳細は、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、【添付資料】P. 2「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期2Q	115,591,496 株	26年3月期	115,575,696 株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	307,984 株	26年3月期	306,762 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期2Q	115,271,882 株	26年3月期2Q	115,157,598 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料は平成26年11月6日に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 経営成績に関する説明	1
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	2
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社グループは、報告セグメントをデジタルエンタテインメント事業、アミューズメント事業、出版事業、及びライセンス・プロパティ等事業と定め、各々のセグメントにおいて、事業基盤の強化と収益力の向上に努めております。

当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は73,130百万円(前年同期比18.6%増)、営業利益は8,507百万円(前年同期比81.9%増)、経常利益は8,997百万円(前年同期比58.7%増)となりました。

なお、関係会社整理損313百万円を特別損失として計上したことなどにより、四半期純利益は5,702百万円(前年同期比118.8%増)となりました。

当第2四半期連結累計期間の報告セグメント別の状況は次のとおりであります。

#### ○デジタルエンタテインメント事業

ゲームを中心とするデジタルエンタテインメント・コンテンツの企画、開発、販売及び運営を行っております。デジタルエンタテインメント・コンテンツは、顧客のライフスタイルにあわせて、家庭用ゲーム機(携帯ゲーム機含む)、PC、スマートデバイス等、多様な利用環境に対応しています。

当第2四半期連結累計期間は、スマートデバイス・PCブラウザ等をプラットフォームとしたコンテンツにおいて、ブラウザゲーム「戦国IXA(イクサ)」が引き続き堅調に推移した他、スマートフォン向けゲーム「ドラゴンクエストモンスターズ スーパーライト」や4月にサービスを開始した「スクールガールストライカーズ」が、好調に推移しました。

また、家庭用ゲーム機向けタイトルにおいて、新作タイトルの販売が伸長したことや昨年度発売したタイトルの追加受注販売が海外を中心に好調であったことに加え、多人数参加型オンラインロールプレイングゲーム「ファイナルファンタジーXIV」及び「ドラゴンクエストX」の運営が堅調に推移しました。

当事業における当第2四半期連結累計期間の売上高は43,757百万円(前年同期比42.8%増)となり、営業利益は7,928百万円(前年同期比129.4%増)となりました。

#### ○アミューズメント事業

アミューズメント施設の運営、並びにアミューズメント施設向けの業務用ゲーム機器・関連商製品の企画、開発及び販売を行っております。

当第2四半期連結累計期間は、アミューズメント機器の販売が減少したほか、アミューズメント施設運営において消費税率の引き上げによる影響があったものの、効率的な店舗運営に努めた結果、業績は堅調に推移しております。

当事業における当第2四半期連結累計期間の売上高は21,298百万円(前年同期比14.8%減)となり、営業利益は2,364百万円(前年同期比36.4%減)となりました。

#### ○出版事業

コミック単行本、ゲームガイドブック、定期刊行誌等の出版を行っております。

当第2四半期連結累計期間は、アニメ化などメディアミックスの効果により、コミックスの売上が順調に推移しました。

当事業における当第2四半期連結累計期間の売上高は6,216百万円(前年同期比34.5%増)となり、営業利益は1,789百万円(前年同期比80.7%増)となりました。

#### ○ライセンス・プロパティ等事業

主として当社グループのコンテンツに関する二次的著作物の企画・制作・販売及びライセンス許諾を行っております。

当第2四半期連結累計期間は、引き続き、自社コンテンツのキャラクターグッズ、サウンドトラック等の販売・許諾を行うとともに、他社の有力コンテンツのキャラクターグッズ化による品揃えの強化や海外展開による収益機会の多様化に努めております。

当事業における当第2四半期連結累計期間の売上高は1,940百万円(前年同期比19.0%増)となり、営業利益は611百万円(前年同期比72.5%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は173,557百万円となり、前連結会計年度末に比べ47百万円減少しました。これは主にコンテンツ制作勘定が9,391百万円増加したこと、現金及び預金656百万円、受取手形及び売掛金4,822百万円及び流動資産その他が3,999百万円減少したことによるものであります。固定資産は44,617百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,605百万円増加しました。

この結果、総資産は、218,174百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,557百万円増加しました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は77,292百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,216百万円減少しました。これは主に支払手形及び買掛金が1,282百万円及び未払法人税等が1,420百万円減少したことによるものであります。固定負債は6,732百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,700百万円減少しました。

この結果、負債合計は、84,024百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,916百万円減少しました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は134,150百万円となり、前連結会計年度末に比べ6,473百万円増加しました。これは主に四半期純利益5,702百万円、剰余金の配当2,305百万円、為替換算調整勘定の増加1,686百万円及び退職給付に関する会計基準等の適用による増加1,683百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は61.0%（前連結会計年度末は58.3%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループを取り巻く事業環境は、欧米における家庭用ゲーム機向けソフト市場の競争激化・上位集中が進む一方、スマートフォン、タブレットPC等の所謂スマートデバイスが急速に普及するなど、大きな変革期にあります。当社は、このような環境変化に対応したコンテンツ開発と収益機会の多様化を図ることによって、強固な収益基盤を確立する取り組みを進めております。

なお、かかる事業環境の変化に伴い、売上・損益の変動がより大きくなることが想定されるため、レンジによる連結業績予想を採用しております。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を割引率決定の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数を基礎に決定する方法から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が1,811百万円減少し、利益剰余金が1,683百万円増加しております。また、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	115,367	114,711
受取手形及び売掛金	22,110	17,288
商品及び製品	2,013	2,479
仕掛品	700	404
原材料及び貯蔵品	433	318
コンテンツ制作勘定	20,556	29,947
その他	12,573	8,574
貸倒引当金	△151	△166
流動資産合計	173,604	173,557
固定資産		
有形固定資産	19,917	19,915
無形固定資産	10,835	10,707
投資その他の資産	12,259	13,994
固定資産合計	43,012	44,617
資産合計	216,617	218,174

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,563	10,280
短期借入金	6,852	7,109
1年内償還予定の社債	35,000	35,000
未払法人税等	2,980	1,560
賞与引当金	1,771	1,308
返品調整引当金	4,609	4,345
店舗閉鎖損失引当金	251	194
資産除去債務	3	0
その他	17,475	17,492
流動負債合計	80,508	77,292
固定負債		
役員退職慰労引当金	178	155
店舗閉鎖損失引当金	383	327
退職給付に係る負債	4,425	2,355
資産除去債務	807	958
その他	2,636	2,935
固定負債合計	8,432	6,732
負債合計	88,940	84,024
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	15,368	15,381
資本剰余金	44,607	44,621
利益剰余金	71,298	76,378
自己株式	△870	△872
株主資本合計	130,404	135,509
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	253	288
為替換算調整勘定	△4,780	△3,094
退職給付に係る調整累計額	432	344
その他の包括利益累計額合計	△4,095	△2,461
新株予約権	348	372
少数株主持分	1,018	729
純資産合計	127,676	134,150
負債純資産合計	216,617	218,174

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	61,664	73,130
売上原価	34,433	39,016
売上総利益	27,230	34,113
返品調整引当金戻入額	4,538	4,643
返品調整引当金繰入額	3,344	4,163
差引売上総利益	28,425	34,593
販売費及び一般管理費	23,749	26,085
営業利益	4,675	8,507
営業外収益		
受取利息	52	66
受取配当金	5	7
為替差益	942	526
雑収入	67	107
営業外収益合計	1,066	707
営業外費用		
支払利息	44	38
支払手数料	26	26
移転関連費用	—	144
雑損失	2	8
営業外費用合計	73	217
経常利益	5,669	8,997
特別利益		
投資有価証券売却益	24	82
新株予約権戻入益	33	7
受取補償金	351	—
その他	2	—
特別利益合計	412	90
特別損失		
固定資産除却損	41	149
コンテンツ評価損	1,641	—
関係会社整理損	—	313
その他	87	258
特別損失合計	1,770	721
匿名組合損益分配前税金等調整前四半期純利益	4,311	8,365
匿名組合損益分配額	14	132
税金等調整前四半期純利益	4,297	8,232
法人税、住民税及び事業税	836	1,118
法人税等調整額	847	1,375
法人税等合計	1,683	2,494
少数株主損益調整前四半期純利益	2,614	5,738
少数株主利益	7	36
四半期純利益	2,606	5,702



(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,614	5,738
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	359	35
為替換算調整勘定	1,187	1,737
退職給付に係る調整額	—	△88
その他の包括利益合計	1,547	1,684
四半期包括利益	4,161	7,423
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,091	7,335
少数株主に係る四半期包括利益	70	88

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	デジタルエン タテイン メント事業	アミューズ メント事業	出版事業	ライセンス・ブ ロパティ等 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	30,631	25,003	4,525	1,503	61,664	—	61,664
セグメント間の内部売 上高又は振替高	4	—	95	127	227	△227	—
計	30,636	25,003	4,621	1,630	61,891	△227	61,664
セグメント利益	3,456	3,717	990	354	8,519	△3,843	4,675

(注) 1. セグメント利益の調整額△3,843百万円には、報告セグメントに帰属しない一般管理費△3,859百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	デジタルエン タテイン メント事業	アミューズ メント事業	出版事業	ライセンス・ブ ロパティ等 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	43,757	21,298	6,196	1,877	73,130	—	73,130
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	19	63	83	△83	—
計	43,757	21,298	6,216	1,940	73,213	△83	73,130
セグメント利益	7,928	2,364	1,789	611	12,693	△4,186	8,507

(注) 1. セグメント利益の調整額△4,186百万円には、報告セグメントに帰属しない一般管理費△4,201百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。